

不定愁訴を漢方で治す

～頭痛・めまい・冷え・神経症～

東海大学医学部 教授
新井 信

【講師略歴】

東京女子医科大学付属東洋医学研究所 医局長を経て
現在、東海大学医学部専門診療学系漢方医学教授

昭和 33 年 埼玉県 秩父市生まれ

昭和 56 年 東北大学薬学部 卒

昭和 63 年 新潟大学医学部 卒

医師、薬剤師

医学博士、総合内科専門医、漢方専門医・指導医、医学教育専門家

東京薬科大学客員教授、早稲田大学非常勤講師

横浜市立大学非常勤講師、聖マリアンナ医科大学非常勤講師

東北大学薬学部非常勤講師、昭和薬科大学非常勤講師、防衛医科大学校非常勤講師

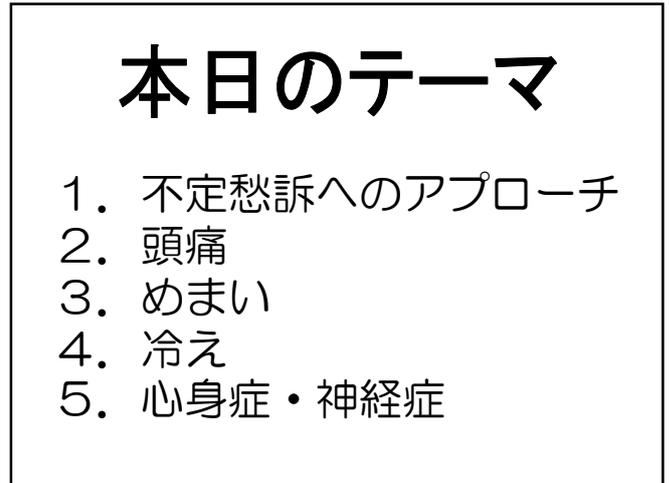
和漢医薬学会、日本医学教育学会

国際東洋医学会日本支部評議員、日本漢方医学教育協議会幹事

日本東洋医学会、日本内科学会、日本消化器病学会



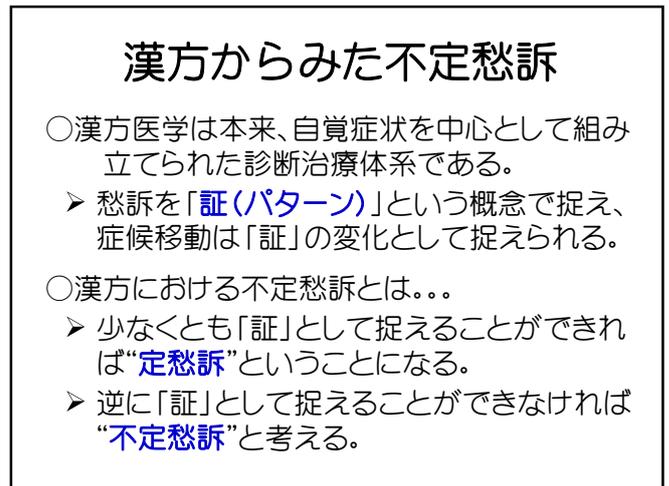
1



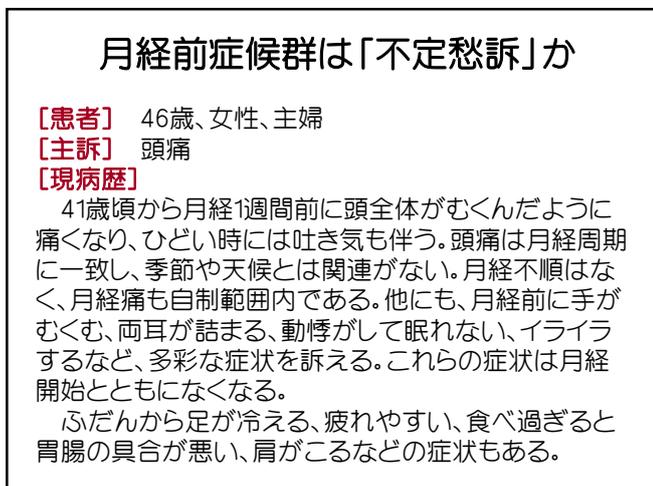
2



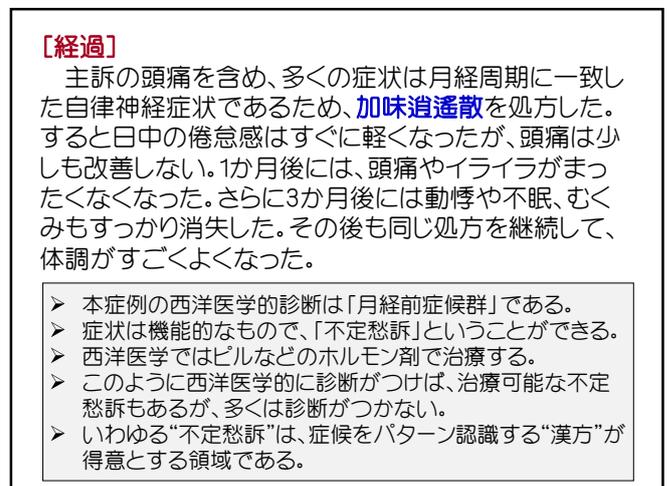
3



4



5



6

不定愁訴の漢方治療で
もっとも重要なこと

どの症状が一番つらいのか
どの症状を治したいのか

治療の目標を定める！

7

一番つらい症状を明らかにする

(1)主訴 第一に着眼すべき項目！

(2)治しやすい症状

①比較的治りやすいと思われる症状
こむらがえり、水様性鼻汁
消化器症状（便秘、胃もたれ、胃腸虚弱など）
月経困難症、疲労倦怠など

②治りにくい症状
耳鳴、静脈瘤、癌性疼痛、頭部全体の脱毛、
麻痺、爪が割れやすいなど
器質的障害が明らかなもの
(大腸癌による便秘、網膜剥離による視力低下)

8

着眼のポイント1

主訴となる症状の
性質・性状・分布はどうか

主訴はもっとも重要なターゲット！

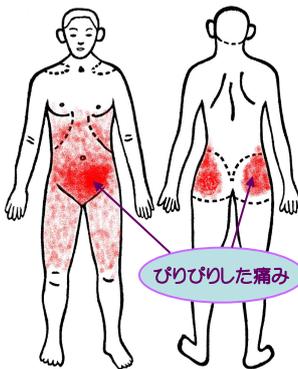
9

糖尿病の症例 62歳、女性、主婦

【主訴】腹痛
【現病歴】40歳ではじめて2型糖尿病を指摘され、食事療法（1500kcal）および経口糖尿病薬で治療を開始した。
初診3ヶ月前、インスリン導入のために某大学病院に入院した。入院中から左下腹部表面付近に間歇的にピリピリするような痛みを感じていたが、退院後も痛みは徐々に広がり、強くなり、そして継続するようになった。来院2週間前には、痛みは下腹部全体に広がり、終日ザクザクと痛んで、夜も眠れないほど激しくなった。薬局で漢方薬（牛車腎気丸料合麻杏薤甘湯）を勧められて服用したところ、痛みは半減したが、かえって血糖値は上昇してしまい、HbA1cは7.8%となった。体重は最近3ヶ月間で6kg減少した。
夜間頻尿5回、疲れやすい、微熱がある、膀胱炎を起こしやすいなどの訴えもある。

10

初診時現症 62歳、女性、主婦



身長：156cm
体重：46kg
血圧：154/76mmHg
体温：36.1℃
顔面：やや苦悶状
脈：浮弱数（脈拍数 112/min）
舌：薄い黄色苔
腹：腹壁は軟弱で薄い
臍傍動悸（+）
小腹不仁（-）
四肢：浮腫（-）
冷感（-）

11

臨床経過 62歳、女性、主婦

初診 ↓

桂枝薬草黄辛附湯

八味地黄丸料合麻黄附子細辛湯

附子 1.0g 3.0g 4.0g 5.0g

五積散



HbA1c 6.9% → 6.2%

insulin 34u → 21u

(朝6u 昼8u 夕7u)

治療開始後(月)

12

着眼のポイント2

主訴と同時に
どんな症状が起こるか

「証」は治療を目的とした症候群



13

不定愁訴をパターン(証)として
捉えられるか？

- ① 頭痛(主訴)
- ② 顔面紅潮
- ③ イライラ
- ④ 頑丈な体格
- ⑤ 月経痛

14

着眼のポイント3

増悪因子・改善因子など
関連因子を見つける

変動する症状は治る可能性がある



15

症状を増悪させる共通因子は？

- 月経(月経周期に一致)
 - 駆瘀血剤(桂枝茯苓丸、当帰芍薬散など)
- 食事(過食・食後など)
 - 補脾剤(半夏瀉心湯、六君子湯など)
- 寒冷(冷房・入浴で改善)
 - 温熱剤(大建中湯、当帰四逆加呉茱萸生姜湯など)
- 疲労(徹夜・夏ばてなど)
 - 補剤(補中益気湯、加味帰脾湯など)
- ストレス(仕事など)
 - 柴胡剤(柴胡桂枝湯、柴胡加竜骨牡蛎湯など)
- 気圧低下(雨天・低気圧など)
 - 利尿剤(五苓散、苓桂朮甘湯など)

16

胃腸薬で喘息が改善した症例

【症例】 75歳、女性、無職

【主訴】 呼吸が苦しくなる

【現病歴】 40歳頃から気管支喘息といわれ、ときどき気管支拡張薬を内服していた。最近では胸から喉が詰まったように息苦しく、夜は喘鳴が激しくて眠れない。気管支拡張薬を連日使用している。

喘息の特徴として、少し食べ過ぎたり、冷たいものを食べたりすると、すぐにみぞおちが詰まって苦しくなり、その後に呼吸苦が増す。夕食を減らすと、夜の息苦しさが楽になる。

その他に、胸やけがする、便秘して下腹部が張る、口が苦いなどと訴える。食欲低下、腹鳴、下痢はない。

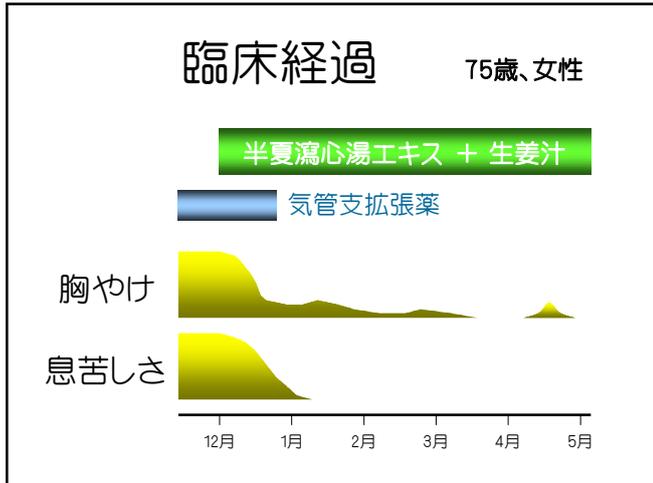
17

GERD (Gastroesophageal Reflux Disease)

症状	% of patients
胸やけ	75
吐出し	65
心窩部のやける感じ	55
心窩部痛	45
ゲップ	65
鼓腸	55
悪心・嘔吐	25
早期満腹感	20
食欲不振	15
嚥下困難	10
非心臓性胸痛	25
呼吸器症状	35
耳鼻咽喉頭症状	45



18



19



20

頭痛に対する漢方的アプローチ

- 漢方には鎮痛薬という概念はない。
- 頭痛に用いる漢方薬は多種多様である。
- 下記項目を参考に「頭痛」の特徴をとらえ、治療に適した漢方薬を絞り込む。

- 増悪因子
- 随伴症状
- 性状・性質
- 部位
- 特徴なし

21

頭痛に対する漢方のアプローチ①

－増悪因子－

- 雨の前日(気圧低下)
 - 五苓散、半夏白朮天麻湯
- 月経周期
 - 桂枝茯苓丸、当帰芍薬散、加味逍遥散
- 寒冷暴露(冷え)
 - 当帰四逆加呉茱萸生姜湯
- 飲酒
 - 五苓散、黄連解毒湯

22

頭痛によく用いる漢方薬

－雨の前日の頭痛－

五苓散(ごれいさん)

水滯に対する代表的処方／浮腫／口渇、尿量減少(必発でない)

参考：五苓散の効く頭痛は、次の5通りある

- 1) 雨の前日の頭痛
- 2) 頭帽感(帽子をかぶったように頭全体がぼーっと痛む)
- 3) 嘔気を伴う頭痛(片頭痛)
- 4) 三叉神経痛
- 5) 二日酔いの時の頭痛

半夏白朮天麻湯(はんげびやくじゅつてんまとう)

胃腸虚弱／体力低下／心下振水音／めまい

23

五苓散

ごれいさん

処方のポイント

- 口渇、尿量減少
- 浮腫
- その他
 - ・雨の前日の頭痛
 - ・二日酔いの頭痛
 - ・噴水状嘔吐(水逆)
(急性ウイルス性胃腸炎)

水滯の代表的な処方
飲水量に比べて尿量が少ないもの

高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

24

五苓散が有効な慢性頭痛患者における背景因子の検討

症例数:56例(男14例、女42例) / 問診項目数:約140項目(生活習慣24、症状86、身体所見26など)

項目	五苓散有効	五苓散無効	p	オッズ比
症状が雨の前日に悪化(はい/いいえ)	(19/2)	(2/19)	0.0025	16.3
かぜをひきやすい(はい/いいえ)	(7/14)	(14/7)	0.045	0.26
手が冷たい(はい/いいえ)	(7/14)	(14/7)	0.035	0.24
動悸(はい/いいえ)	(4/17)	(10/11)	0.039	0.22
足が冷える(はい/いいえ)	(13/8)	(18/3)	0.0064	0.22
脈の強さ(無力/普通)	(3/15)	(8/12)	0.054	0.20
息切れ(はい/いいえ)	(2/19)	(7/14)	0.053	0.17
めまい(はい/いいえ)	(8/13)	(15/6)	0.017	0.16
胸苦しい(はい/いいえ)	(1/20)	(6/15)	0.073	0.13
月経量(多い+少ない/中)	(1/11)	(4/5)	0.083	0.12
舌苔色(黄+焦+灰+黒+緑+その他/白)	(1/20)	(6/15)	0.054	0.11
立ちくらみ(はい/いいえ)	(7/14)	(17/4)	0.0031	0.10
不安が強い(はい/いいえ)	(9/12)	(18/3)	0.0055	0.093
月経血に母指頭大の血塊混入(はい/いいえ)	(4/8)	(8/1)	0.024	0.052

灰本元、他・慢性頭痛の臨床疫学研究と移動性低気圧に関する考察—五苓散有効例と無効例の症例対照研究—*φ*1(3):8-17, 1999

25

半夏白朮天麻湯

はんげびやくじゅつてんまとう

処方のポイント

- 末梢性めまい
非回転性めまいであることが多い
- 消化管機能低下
- 疲れやすい
- のぼせはない

補中益気湯の類縁処方(気虚)であり、めまいの背景に胃腸虚弱とエネルギー不足がある。

高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

26

頭痛によく用いる漢方薬

一月経周期に一致して増悪する頭痛

(月経前症候群・更年期症候群など)

桂枝茯苓丸 (けいしふりくようがん)
比較的頑丈な体格/赤ら顔/下腹部圧痛/冷えのぼせ

加味逍遥散 (かみしょうようさん)
更年期症候群/ホットフラッシュ/自律神経失調症状

当帰芍薬散 (とうきしゃくやくさん)
痩せた体格/むくみ/冷え(のぼせなし)/顔面は不良で浮腫状

27

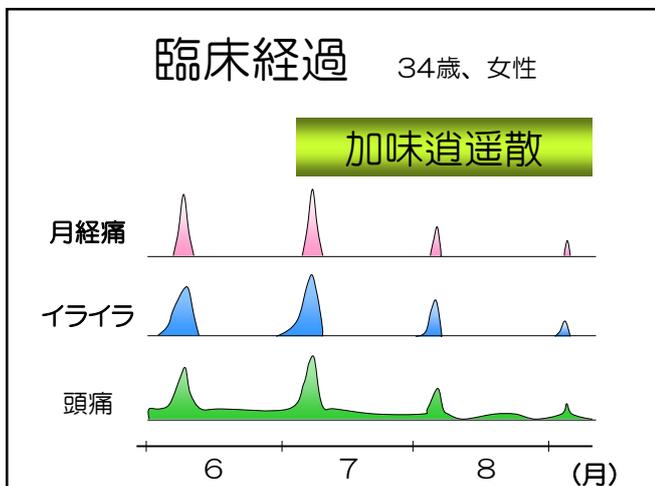
月経前症候群にみられる頭痛

34歳、女性、会社員

主訴：月経痛、月経前の頭痛とイライラ

現病歴：13歳で初潮。20歳頃から月経痛が強くなり、月経前日から2日目までは、いつも鎮痛剤が必要になった。3年前から排卵後、月経前2週間ほど前から、精神的に不安定になり、頭が重く痛み、イライラがひどくて情緒が不安定になる。問診すると、頭痛はふだんから多少あるが、とくに月経前にひどいという。その他にも月経前に過食傾向になる、だるい、気力がでない、めまい感があるなどと訴える。夏でも手足が冷える。近所の婦人科を6か月前に受診し、**月経前症候群**と診断された。**低用量ピル**と**抗うつ薬**を処方されたが、低温期でも倦怠感が持続するようになったために中止した。

28



29

頭痛に対する漢方のアプローチ②

— 随伴症状 —

- 吐き気 → 呉茱萸湯、五苓散
- のぼせ
桂枝:指で押すと退色するような虚の赤み
のぼせには必ず冷えを伴う(冷えのぼせ)
黄連:酒に酔ったような充血を伴う実の赤み
- めまい → 苓桂朮甘湯、半夏白朮天麻湯(水滯)
- 冷え → 当帰四逆加呉茱萸生姜湯(寒疝)
- 副鼻腔炎 → 葛根湯、葛根湯加川芎辛夷

30

頭痛によく用いる漢方薬 －吐き気を伴う頭痛－

呉茱萸湯 (ごしゅゆとう)
片頭痛の第一選択薬

参考：次のような順序で起こる頭痛には呉茱萸湯を考える

- 1) 発作時は両肩から後頸部が凝る
- 2) 眼球の奥が痛む
- 3) 頭痛は発作性で反復する
- 4) 激しいときは悪心や嘔吐を伴う

五苓散 (ごれいさん)
水滯徴候(浮腫など)／呉茱萸湯が無効な片頭痛

31

頭痛によく用いる漢方薬 －のぼせを伴う頭痛－

【実ののぼせ】 ➡ **黄連(黄連・黄芩)**
黄連解毒湯 (おうれんげどくとう)
丈夫な体格／顔面や頭部の熱感と充血感／拍動性頭痛
女神散 (によしんさん)
更年期／自律神経失調症状(訴えは頭痛とめまいが主体)

【虚ののぼせ(冷えのぼせ)】 ➡ **桂枝(桂枝・甘草)**
苓桂朮甘湯 (りょうけいじゆつかんとう)
めまい／冷えのぼせ／頭痛
桂枝人参湯 (けいしにんじんとう)
胃もたれ／食欲低下／下痢／冷えのぼせ

32

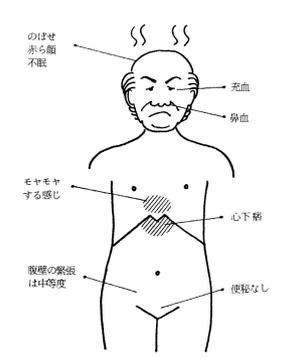
黄連解毒湯

症例 62歳、男性
主訴 頭痛

現病歴 5年前程から高血圧を指摘されていたが、治療を受けていなかった。半年前から頭痛を自覚するようになった。いらいらしやすく、不眠がある。日本酒1日2合。

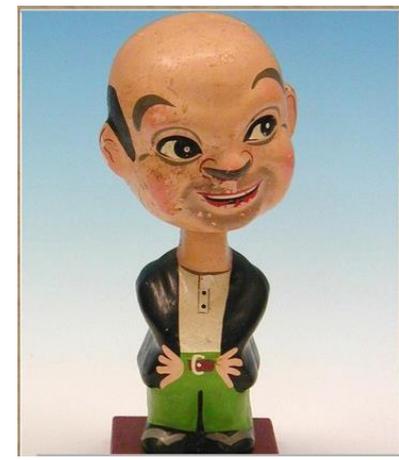
現症 身長156cm、体重62kg。のぼせ顔。血圧152/94。

経過 黄連解毒湯を服用して2週間で頭痛は消失。1ヶ月後には血圧も正常化した。



高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

33





伝助人形

34

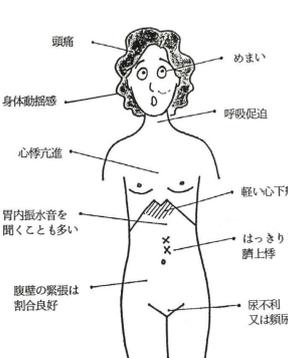
苓桂朮甘湯

効能又は効果
めまい、ふらつきがあり、または動悸があり、尿量が減少するものの次の諸症：
神経質、ノイローゼ、頭痛、めまい、動悸、息切れ

処方のポイント

- ◎めまい (回転性・非回転性)
- ◎頭痛
- ◎冷えのぼせ (突き上げ感)

末梢性めまいの第一選択薬



高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

35

頭痛に対する漢方のアプローチ③ －性状・性質－

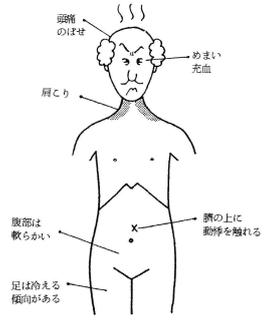
- 🌿 **頭冒感** (さつめの帽子を被ったような感覚)
五苓散、半夏白朮天麻湯、当帰芍薬散、当帰芍薬散、苓桂朮甘湯など(水滯)
- 🌿 **凝ったような痛み** (緊張型頭痛)
葛根湯、桂枝加葛根湯(芍薬、葛根)
- 🌿 **拍動性の痛み** (片頭痛)
呉茱萸湯など
- 🌿 **早朝の頭痛**
釣藤散など

36

頭痛によく用いる漢方薬 －早朝の頭痛－

釣藤散 (ちようとうさん)
高血圧を伴う高齢者の頭痛

- 早朝に増悪する
- 頭痛で目が覚める
- 高血圧や脳動脈硬化を伴う

高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

37

頭痛に対する漢方のアプローチ④ －部位－

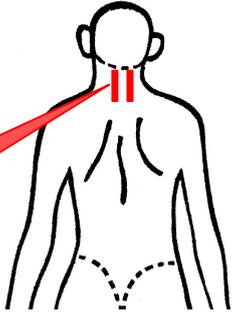
- **後頸部**
姿勢不良、猫背、頸椎捻挫などによる緊張性頭痛
葛根を含む処方
(葛根湯、桂枝加葛根湯など)
- **頭皮 (体表面：表証)**
三叉神経痛 (第1枝領域) など体表面の痛み
麻黄附子細辛湯、桂姜棗草黄辛附湯、桂枝湯など

38

頭痛によく用いる漢方薬 －後頸部凝りを伴う頭痛－

葛根湯 (かっこんとう)
後頸部凝り／緊張性頭痛／
もともと感冒初期に用いる薬

項背強



緊張性頭痛の第一選択薬

39

頭痛によく用いる漢方薬 －体表面の痛み－

- 三叉神経痛 (第一枝) などに応用できる。
- 「風が当たると痛む」「髪の毛に触れただけで痛む」などと訴える。

麻黄附子細辛湯 (まおうぶしさいしんとう)
顔色不良／寒がり／低体温など (新陳代謝の低下)

桂姜棗草黄辛附湯 (けいきょうそうそうおうしんぷとう)
麻黄附子細辛湯で胃がもたれる／長期服用
桂枝湯エキスと麻黄附子細辛湯エキスで代用

40

頭痛に対する漢方のアプローチ⑤ －特徴なし－

- **川芎茶調散**
古典には「一切の頭痛に用ゆ」という記載もある。
他の処方を示唆する特徴的な症候に乏しい場合に
考慮する。



41



42

めまいに用いる漢方薬

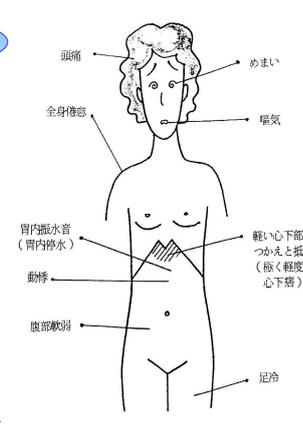
- 末梢性めまいは一般に症状が激しいが漢方治療のよい適応で、中枢性めまいは重篤な者もあり注意が必要である。
- 末梢性めまいは水滯と考えられ、天気や気圧の変動で悪化することが多い。
- 末梢性めまいでは定方向性の眼振、中枢性めまいでは注視方向性の眼振がみられる。

- ①苓桂朮甘湯[39]
第一選択薬／回転性または浮動性／冷えのぼせ
- ②半夏白朮天麻湯[37]
胃腸虚弱がある／顔色が悪い／疲れやすい
- ③五苓散[17]
水を多く飲むが、飲んだ割に尿量が少ない／むくみ

43

半夏白朮天麻湯

症例 21歳、女性
主訴 めまい・頭痛
現病歴 もともと痩せた体格。高校生の頃、月に2、3日は頭痛とめまいで学校を休んだ。OLになって再び同様の症状が出現。疲れやすく、冷え症で下痢気味。
現症 身長155cm、体重46kg。血圧98/70。華奢な体格。腰部に胃内停水を認める。
経過 半夏白朮天麻湯を服用。めまいと頭痛は1ヶ月で軽くなり、顔色がよくなり、元気になった。

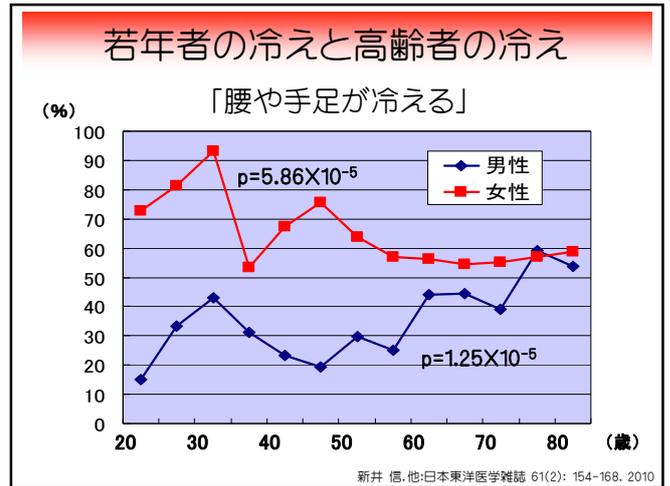


高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

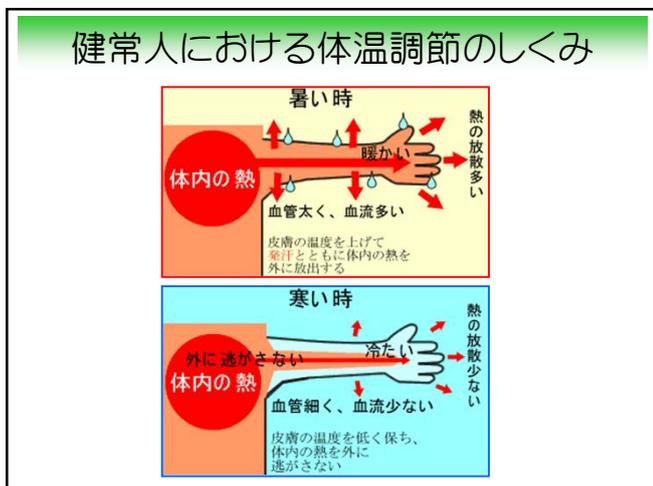
44



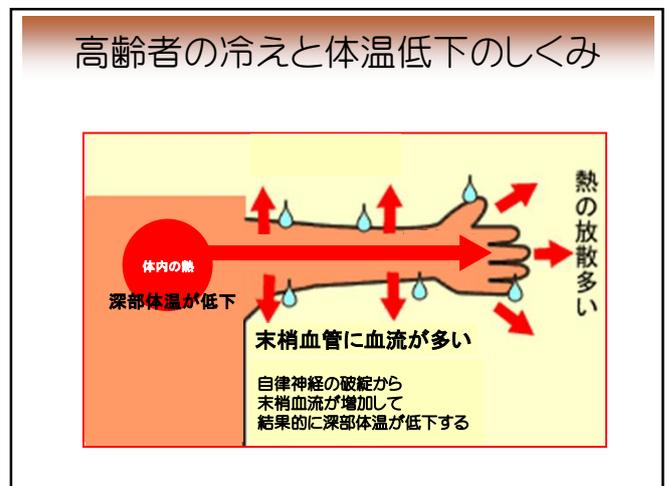
45



46



47



48

冷えの2大原因

- ①末梢循環障害(瘀血)によるもの
しもやけ(手足の冷え)・若年女性
➡ **当帰、川芎**
- ②新陳代謝の低下によるもの
寒がり・低体温・高齢者
➡ **附子**

49

手足の冷え(末梢循環障害)に用いる漢方薬

末梢循環障害 → 当帰、川芎(温性駆瘀血剤)

当帰芍薬散(23)
むくみ/頭痛/めまい/虚弱体質(顔色不良)

桂枝茯苓丸(25)
のぼせ/頭痛/肩こり/下腹部圧痛/頑丈な体格

加味逍遙散(24)
ホットフラッシュ/更年期障害/不眠/肩こり/不定愁訴

当帰四逆加呉茱萸生姜湯(38)
しもやけ/冷えのぼせ/腹痛

温経湯(106)
月経困難/手掌煩熱/口唇乾燥/冷えのぼせ

50

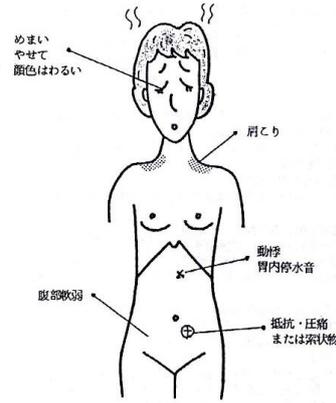
当帰芍薬散

とうきしゃくやくさん

処方のポイント

- ① 虚弱な若年女性
- ② 冷え
- ③ 水滞(浮腫、めまい)

手足の冷えと浮腫がメインの症状で、自律神経症状や精神症状はあまり目立たない。



高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

51

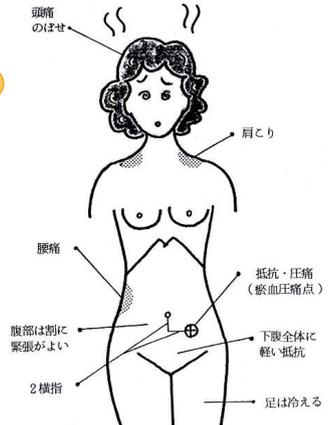
桂枝茯苓丸

けいしぶくりょうがん

処方のポイント

- ① 体力充実(実証)
- ② 冷えのぼせ
- ③ 瘀血症状が強い

加味逍遙散に比べ、体格が頑丈で、冷えのぼせが強く、下腹部圧痛が明らかである。



高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

52

加味逍遙散

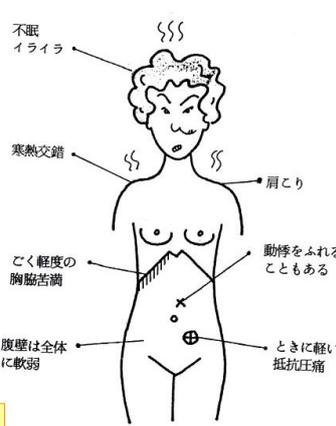
かみしょうようさん

処方のポイント

- ① 中年女性
- ② 多愁訴(心気症)
- ③ ホットフラッシュ

更年期症状、特にホットフラッシュに対する第一選択薬である。

加味逍遙散:中枢性ホットフラッシュ
桂枝茯苓丸:末梢性ホットフラッシュ



高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

53

特殊な冷え(寒疝)

- 寒冷刺激で誘発あるいは増悪する下腹部の痙痛を伴うさまざまな症状
→ 下腹部痛、腰痛、めまい、頭痛、動悸、歩行困難、発熱、出血、冷や汗など
- いずれの症状も寒冷暴露(クーラーの冷気など)で誘発されることが特徴!
- スーパーマーケットの冷凍食品売り場や生鮮食品売り場に行けない!
- コンビニのおでん売り場に行けても、アイスクリーム売り場には行けない!

当帰四逆加呉茱萸生姜湯 → **第一選択薬**

54

寒冷暴露で誘発される諸症状

【症 例】 23歳、女性

【主 訴】 冷える

【現病歴】 10歳頃より気温低下や冷房で手足が冷えて痛むようになった。冷えにより月経痛が悪化し、腹鳴と腹部疝痛を生じて下痢となり、同時に吐き気を伴う頭痛を起こす。夕方には倦怠感と眠気が著しい。最近では、少し冷えただけでも右足の付け根が痛み、ひどい時には腰まで広がり動けなくなる。

その他、のぼせやすく、月に2～3回は鼻出血がある。二便正常。

55

臨床経過 23歳、女性

症状は多彩だが、いずれも寒冷刺激で増悪するため、**寒疝**と考へて**当帰四逆加呉茱萸生姜湯**エキス(ツムラ、7.5g、分3)を処方。

2週間後には腹痛、腰痛、頭痛、月経痛などの症状が消失し、鼻出血も止まった。

倦怠感や眠気、下痢も2ヶ月後には改善した。

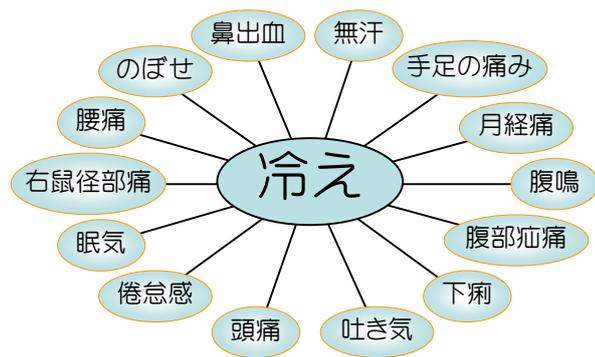
今まで汗がほとんど出なかったが、今年の夏は気持ちよく発汗した。

10月で涼しくなっても、経過は順調である。

56

当帰四逆加呉茱萸生姜湯で改善した諸症状

23歳、女性



57

当帰四逆加呉茱萸生姜湯

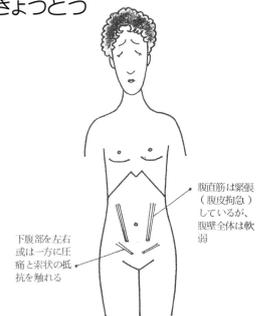
とうきしぎやくかごしゆゆしょうきょうとう

処方のポイント

- ◎末梢循環障害(四肢厥冷)
- ◎しもやけ(紫雲膏を併用)
- ◎強い身体の冷え

特殊な使用法

- ◎寒疝(寒冷暴露で増悪する下腹痛)
- ◎バナ指



高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

58

心身症 神経症

抑うつ
不安
動悸
イライラ
不眠 など



59

抑うつ・不安・動悸・イライラの漢方治療

- (1)交感神経緊張タイプ
- (2)呼吸困難タイプ
- (3)更年期障害タイプ
- (4)興奮のぼせタイプ
- (5)疲労困憊タイプ

60

交感神経緊張タイプ

竜骨と牡蛎のペアを含む処方を考える。
→ 動悸、心悸亢進、驚きやすい、興奮、不眠、
高血圧など（神経過敏症状）

柴胡加竜骨牡蛎湯 第一選択薬

- 動悸
- 不眠
- 音に過敏
- イライラ
- 抑うつ
- 抗ストレス作用

ストレスによる神経過敏症状に頻用する。
抑うつ状態にも用いる。

61

交感神経緊張タイプ

桂枝加竜骨牡蛎湯

虚弱体質
のぼせ
多夢（性的な夢）
性機能低下
めまい
脱毛

柴胡桂枝乾姜湯

虚弱
首から上の発汗
乾燥傾向

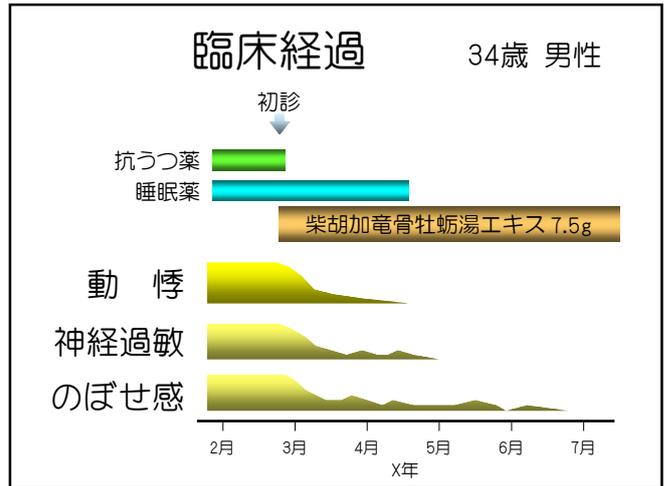
【参考】桂枝加竜骨牡蛎湯（『金匱要略』血痺虚勞病篇）
「失精家」「男子失精、女子夢交」「陰頭寒し」「目眩髪落つ」

62

自律神経失調症 34歳、男性

[主訴] 動悸、のぼせ感、不眠
[現病歴] 某大学医学部5年生。4年生になって学習
内容が急に増えた上、5年生からの臨床実習のための
試験が課せられていた。試験直前の2月、深夜に胸が
詰まって目が覚めて以降、**動悸、神経過敏（音に驚き
やすい）、不眠（入眠障害、中途覚醒）、漠然とした不安
感が続いた。**日中はのぼせたような感じが強い。近医
で抗うつ薬と睡眠薬を処方され、入眠障害は改善し
たが、他の症状には変化がない。
軟便気味、疲れやすいなどの訴えもある。

63



64

呼吸困難タイプ

漢方的病態を「気滞」と考える。
厚朴と蘇葉のペアを含む処方を用いる。
→ 息苦しさ、呼吸困難感、胸部うつ塞感、
咽喉頭異物感、抑うつ気分、腹部膨満など

半夏厚朴湯
気滞の代表的処方／吐き気には生姜汁を加える

柴朴湯
小柴胡湯と半夏厚朴湯の合方／半夏厚朴湯で遷延化／
抗ストレス作用

65

気滞の病態と臨床症状

- 不安感、不眠、抑うつ気分 → **精神科・心療内科**
- 咽喉頭異物感、喉つまり感 → **耳鼻咽喉科**
- 息苦しさ、呼吸困難感、胸部圧迫感、喘鳴 → **呼吸器科**
- 腹部膨満（ガス）、食欲不振 → **消化器科**

66

半夏厚朴湯

はんげこうぼくとう

処方のポイント

- ◎ 咽喉頭異常感
- ◎ 呼吸困難感
息苦しさ・ため息など
- ◎ 不安感(予期不安)

気滞(気うつ)の第一選択薬
ストレスによる神経性胃炎

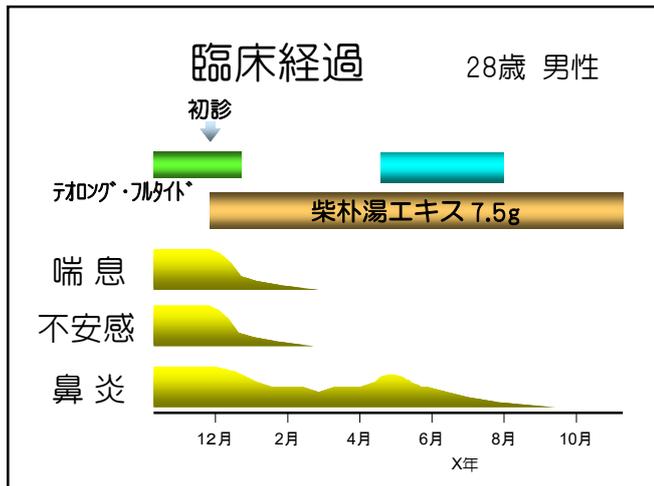
高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

67

気管支喘息 28歳、男性

[主訴] 喘鳴を伴った呼吸困難
 [生活歴] 喫煙は1日10本(現在は禁煙中)
 [現病歴] 10歳で気管支喘息と診断されたが、中学生頃には軽快した。大学卒業後、都内の商社に勤務したが、今春に配属が変わった頃から再び喘息発作を頻回に生じるようになった。某大学病院で治療を受けたが、3か月前から、夜間に息苦しくて目が覚めるようになった。咽に痰が絡まったようだが、咳は多くない。発作に対する予期不安が強い。
 ダニとハウスダストに対するアレルギーがある。

68



69

更年期障害タイプ

ホットフラッシュ、多愁訴、イライラなど

加味逍遙散

中年女性/自律神経失調症/更年期障害/ホットフラッシュ
 → 末梢性には循環改善剤、中枢性には安定剤。

女神散

がっしりした体格/のぼせ/頭痛/めまい

加味逍遙散

70

加味逍遙散

かみしょうようさん

処方のポイント

- ◎ 中年女性
- ◎ 多愁訴(心気症)
- ◎ ホットフラッシュ

更年期症状、特にホットフラッシュに対する第一選択薬である。月経前緊張症などの月経周期に一致したイライラに頻用する。

高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

71

女神散

によしんさん

処方のポイント

- ◎ 中年女性
- ◎ のぼせ
- ◎ みぞおちの張り(心下痞)

訴えが多彩なことは加味逍遙散に似ているが、心窩部が張って、常にはぼせや頭痛を訴える。(黄連黄芩煎)

高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

72

更年期症候群 52歳、女性

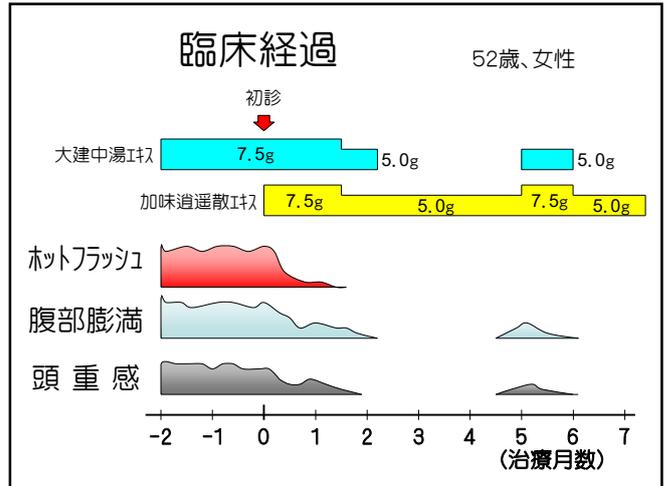
〔主訴〕 発作性発汗

〔現病歴〕 3年前からガスによる**腹部膨満感**が強まったが、大腸内視鏡検査では異常はなかった。近医から処方された大建中湯エキスで症状が多少改善したため、その後も同方を継続して服用していた。

初診6か月前の4月を最後に月経が止まった。同年7月頃からは**急に首が暑くなって発汗する**ようになり、ひどい寒がりにもかかわらず、夜中に暑くて目が覚めるようになった。同時に**動悸**を伴う。さらに同じ頃から**頭が重い**状態がずっと続いている。同年10月、主治医から漢方治療を勧められ、当科を受診した。

疲れやすいという以外、他の訴えはほとんどない。

73



74

興奮のぼせタイプ

興奮、のぼせ、不安焦燥感、イライラ、不眠など

黄連解毒湯

黄連黄芩剤（実ののぼせ）
酒に酔っているような
真っ赤で充血したような顔色
頑丈な体格

三黄瀉心湯

黄連黄芩剤
黄連解毒湯タイプ／便秘

75

興奮のぼせタイプ

桃核承気湯

月経周期と一致した精神症状／便秘／過食症

『傷寒論』:「其人如狂」
北尾春圃『当壮庵家方口解』桃仁承気湯:
「瘀血の有る熱病はよく食するあり」
浅田宗伯『橘窓書影』:「消穀善飢」
桂枝甘草を含む

抑肝散

攻撃的 성격（怒りっぽい）／焦燥感／
顔面痙攣（チック）／不眠／歯ぎしり
→ 母子同服

76

桃核承気湯

とうかくじょうきとう

処方のポイント

- ◎ 左下腹部圧痛（瘀血：小腹急結）
- ◎ 便秘
- ◎ 精神症状（如狂）

月経周期に一致した激しい精神症状（狂うが如し）が特徴である。便秘を目標にしてもよい。過食は瘀血であり、本方を用いる。**桂枝甘草**（気の衝衛に対応）を含む。

頭痛のぼせ、めまい、耳鳴、顔赤黒い、にきび、吹出物、肩こり、腰痛、腹部全体の緊張良好、著明な圧痛（少腹急結）、下腹部は、硬満気味、足のかえ、月経異常（月経時症状を呈すことあり）、便秘

高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

77

突き上げるような胸部動悸感

〔症例〕 72歳、男性、無職

〔主訴〕 横になったときに胸の奥で動悸がして眠れない

〔既往歴〕 66歳:解離性大動脈瘤がラト置換術
70歳:前立腺肥大症でTUR施行

〔現病歴〕 66歳で解離性大動脈瘤の手術を行って以来、仰臥位になると胸部正中の手術痕の奥に動悸を感じ、1時間近くは寝付けない状態が続いた。原因は不明で、さまざまな西洋医学的治療もまったく効果がなかった。X年12月、知人に薦められ、東京女子医科大学附属東洋医学研究所外来を受診した。夜間尿3回、不眠、腹部膨満感などを訴える。

78



79



80

『金匱要略』にみる 奔豚気病

奔豚病
從少腹起上衝喉
發作欲死復還止
皆從驚恐得之

(金匱要略・奔豚気病篇)

- 桂枝加桂湯 (氣)
- 奔豚湯 (血)
- 苓桂甘棗湯 (水)

81

抑肝散

よくかんさん

処方のポイント

- 攻撃的性格 (怒りの感情)
- 筋肉痙攣(チック様)
- 興奮

イライラ 興奮 神経過敏

咬牙

胸痞 (胸のモヤモヤ)

腹部は軟

四肢拘攣

眼瞼痙攣

心下痞

腹直筋特に左腹直筋上半分が緊張

イライラの対象は加味逍遥散では身内(ご主人まで)に止まるが、それを越えて第三者に向くと抑肝散である。

高山宏世『漢方常用処方解説』より引用

82

五臓の対応表

五臓	五腑	五竅	五主	五色	五味	五志	五声
肝	胆	目	筋	青	酸	怒	呼
心	小腸	舌	血脈	赤	苦	喜(笑)	言
脾	胃	口	肌肉	黄	甘	思(慮)	歌
肺	大腸	鼻	皮	白	辛	悲(憂)	哭
腎	膀胱	耳	骨	黒	鹹	恐(驚)	呻

83

青筋を立てる

肝の失調

筋肉痙攣 (チック)

怒りの感情 (攻撃的性格)

目を血走らせる

抑肝散

84

疲労困憊タイプ

疲れやすい、だるい、意欲がない（心身ともに疲弊）など

加味帰脾湯
胃腸虚弱／不眠／健忘／抑うつ（老人性うつなど）／耳閉感（耳管開放症）

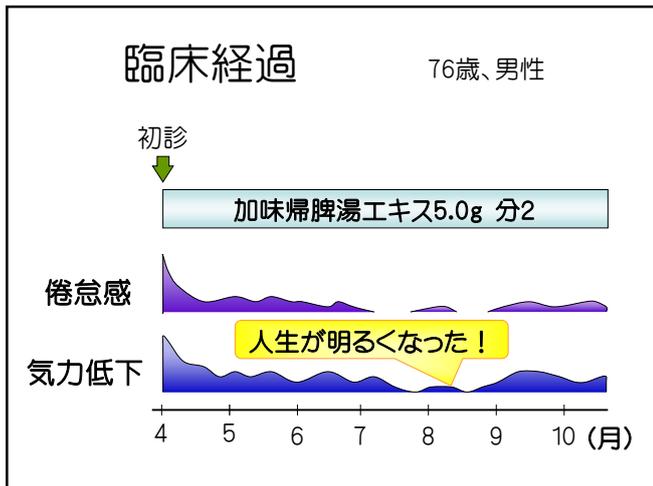
香蘇散
高齢者の抑うつ

85

老人性うつ 76歳、男性

[主訴] 気力が出ない
[現病歴] X年3月に気力低下、食欲低下と不眠を訴えて当院精神科を受診した。うつ病の診断で向精神薬と睡眠薬を処方され、不眠は改善したが、他の症状はほとんど改善しなかった。翌年4月に当院漢方外来を受診し、六君子湯で食欲が増し、精神的に安定してきた。しかし、依然として倦怠感が強く、気力や思考力は低下したままであった。

86



87

効果判定に要する時間

- 使用する処方や目標によってだいぶ異なる。葛根湯を上気道炎に用いる場合などは、1服か2服で効果が現れる。不眠などでは6か月以上もかかることがある。
- 主目標以外の症状が先に改善することがあるため、症状ごとに評価するとよい。
- 愁訴が多い時は、何らかの症状の改善があれば、主訴が十分に改善されていなくても、しばらく薬を続けているとよい。

88

「薬が効く暇がない」
大塚敬節（一九〇〇～一九八〇）

「医自ずから転ず」
永富独嘯庵（一七三二～一七六六）

89

ご聴取有り難うございました

東海大学医学部専門診療学系漢方医学
<http://kampo.med.u-tokai.ac.jp>

90